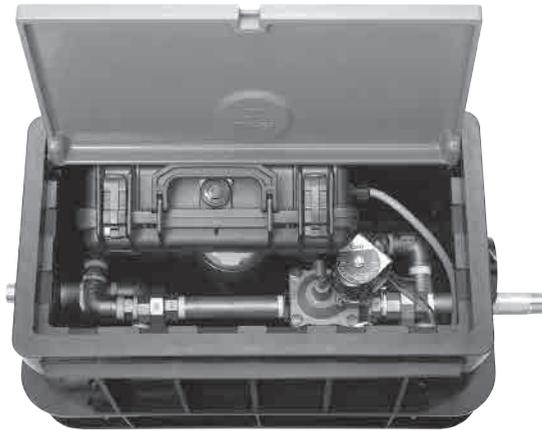


効率的な水質維持管理に寄与

栗本商事 ICT情報連絡会でパネル展示

栗本商事の「省スペース」管路の効率的な水質維持
入型自動排水装置が、管理に寄与する製品とし



量水器ボックスに収納した自動排水装置

がるほか、排水管理にか
かる職員の仕事負担も軽
減できることから、効率
的かつ経済的な水質維持
管理が可能となる。

て、注目を集めている。
管路末端部などの滞留
域では、残留塩素濃度が
低下するため、定期的な
排水が必要となる。細や
かな排水管理にはマンパ
ワーがかかることから、
常時排水で対応する水道
事業者も少なくないが、
有収率の維持・向上とい
う点での課題も存在す
る。

電源は外部電源に頼ら
ない乾電池方式を採用
し、9Vアルカリ乾電池
1個で約1年間の使用が
可能。さらに、IP67相
当の防水性能を持ち、量
水器ボックスもしくは
500以上の弁室に収納
できるコンパクトな形状
としたことで、設置場所
の制約が少なく、設置も
容易となっている。ま
た、逆止弁付止水栓も標
準採用しているため、ク
ロスコネクションも防止
できる。

同装置は、タイマー制
御式の電磁弁を搭載して
おり、1日2回、1回あ
たり1分～9時間59分の
間で、季節などの条件に
応じた最適な排水スケ
ジュールを設定できる。

今年24日に横浜市で行
われるICT情報連絡会
では、同装置のパネル展
示やカタログ配布を行
う。

そのため、常時排水と比
べて捨てる水の削減につな